

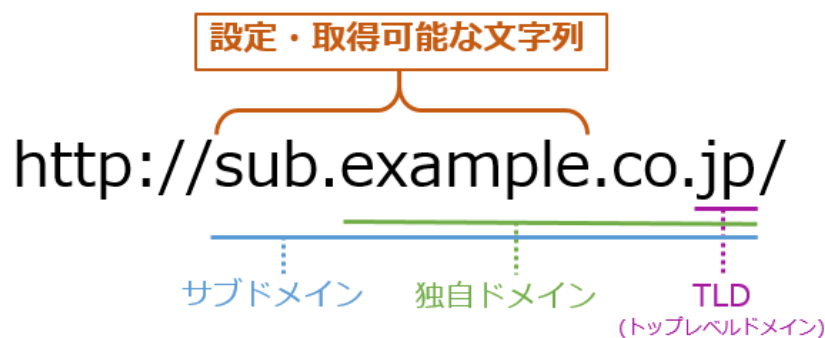
**PRESS RELEASE**

# 2021年上半期フィッシングサイトのドメインを独自に分析、頻出単語は Amazon ~フィッシングサイトのドメイン上位の多くは安価・無料で取得可能~

情報セキュリティメーカーのデジタルアーツ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:道具 登志夫、以下 デジタルアーツ、証券コード 2326)は、2021年上半期に収集した国内外のフィッシングサイト URL のドメインを集計したレポートを公開したことを発表いたします。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、外出自粛でインターネット通販の利用が増加したことなどを背景にフィッシングサイトは増加傾向<sup>※1</sup>にあります。また、ワクチン接種や特別定額給付金を騙るなど新型コロナの話題に便乗しフィッシングサイトに誘導する手口も確認されています。

デジタルアーツでは、日々さまざまな Web サイトについて調査・収集を行っております。今回、デジタルアーツは、2021年上半期(1~6月)に確認した国内外のフィッシングサイト URL のドメインを集計しました(※IP アドレス形式の URL は除く)。なお、本レポートで扱うドメインについては、【図 1】のように定義しています。



【図 1】

## フィッシングサイトのドメインに頻出する文字は Amazon が最多、通販や銀行、支払いなどに関連する単語も上位

独自ドメインとサブドメインの「設定・取得可能な文字列部分」において、できる限り意味のある単語や文字列で分割し、それぞれを集計したところ、(ダイナミック DNS や Web ホスティングサイト利用の場合は、独自ドメインではなくサブドメイン文字列部分である設定可能な文字列のみを集計)1位は「Amazon」となりました。そのほか、通販サイトや銀行、支払いに関連する単語、Web メールやセキュアなログインで使われる単語などが多くランクインしています。「.co.jp」「.com」のランクインは、これらが TLD(トップレベルドメイン)で使われたものではなく、サブドメインとして使われたためです。

順位 ▲	文字列	シェア	順位 ▲	文字列	シェア
1	amazon	4.73%	11	rakuten	2.01%
2	payee	4.54%	12	update	1.91%
3	secure	3.36%	13	login	1.87%
4	.co.jp	3.21%	14	lloyd	1.87%
5	online	3.15%	15	bank	1.85%
6	new	3.03%	16	smbc	1.84%
7	card	2.92%	17	.com	1.83%
8	mail	2.69%	18	what	1.83%
9	app	2.10%	19	account	1.77%
10	device	2.08%	20	verify	1.69%

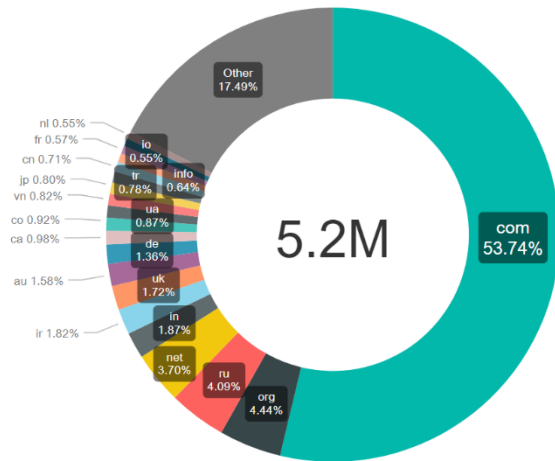
【図 2】2021年上半期 フィッシングサイトドメイン文字列トップ 20

## フィッシングサイトの TLD は「xyz」や「tk」が多く、これらは安価・無料でドメイン取得可能

世界の TLD の数は、IANA※2 の Root Zone Database によると、2021 年 8 月時点で 1589 種類あります。Tranco のトップサイトランキング約 500 万ドメインをもとに、2021 年 8 月 9 日時点の TLD を集計したところ、【図 3】のように世界の TLD シェアは 1 位の「com」は 53.74%と半数以上を占め、2 位が「org」で 4.44%、3 位は「ru」の 4.09%と続きました。「jp」は全体の 0.80%程度でした。

デジタルアーツが収集した【図 4】のフィッシングサイトのドメインでは、世界の TLD シェアと比較して 1 位、2 位は同じですが、3 位以下では「xyz」や「tk」など、安価もしくは無料でドメイン取得可能な TLD が多くランクインしています。

TLDシェア (Tranco Top Sites Ranking)



【図 3】世界の TLD シェア

順位	TLD	シェア	順位	TLD	シェア
1	com	48.39%	11	ml	1.15%
2	org	4.96%	12	cf	1.05%
3	xyz	4.14%	13	ga	0.96%
4	cn	4.04%	14	co	0.94%
5	top	3.13%	15	gq	0.89%
6	net	2.68%	16	tokyo	0.88%
7	tk	2.56%	17	uk	0.87%
8	cc	2.33%	18	info	0.83%
9	buzz	1.71%	19	club	0.73%
10	shop	1.34%	20	in	0.69%

【図 4】2021 年上半期フィッシングサイトの TLD シェアトップ 20

## フィッシングサイトの独自ドメインは無料の Web ホスティングサービスやダイナミック DNS サービスのドメインが上位

デジタルアーツが収集した【図 5】のフィッシングサイト独自ドメインでは、上位に無料の Web ホスティングサービスやダイナミック DNS サービスのドメインがランクインしています。これらのサービスは、誰でも「サブドメイン」を作成して利用できるため、攻撃者に悪用されてしまっている状況です。フィッシングサイトは取得した独自ドメインを使い捨てにすることも多いですが、無料サービスのサブドメインも悪用しています。

中でも 2 位の「duckdns.org(3.43%)」は、TLD に org を使ったフィッシングサイトの過半数を占めていました。国内で被害が多発している【図 6】のような偽 SMS(ショートメッセージサービス)を用いたフィッシングで頻繁に確認されています。下位のドメインはランクインしていてもシェア率は小さく、フィッシングサイト全体としては独自ドメインを取得しては使い捨てにしているため、何度も同じドメインを使い回さないのが集計しても分散されてしまうからだと考えられます。

順位	ドメイン	シェア	順位	ドメイン	シェア
1	000webhostapp.com	5.07%	11	nathanmcguirelaw.com	0.15%
2	duckdns.org	3.43%	12	justns.ru	0.14%
3	weebly.com	2.78%	13	mee-ralbead.com	0.14%
4	web.app	0.44%	14	webcindario.com	0.13%
5	ddns.net	0.30%	15	klinikmatanusantara.com	0.13%
6	amazonaws.com	0.29%	16	se.ke	0.13%
7	portlibertecontractor.com	0.23%	17	nightaway.ca	0.12%
8	velocityhub.com	0.23%	18	wixsite.com	0.11%
9	hvacmania.com	0.22%	19	easywp.com	0.10%
10	godaddysites.com	0.18%	20	appspot.com	0.10%

【図 5】2021 年上半期フィッシングサイト独自ドメイントップ 20



【図 6】宅配便業者をかたる偽の SMS

## サブドメインを使っていないフィッシングサイトが半数以上、一方でブランド正規ドメインをサブドメインとして利用も

サブドメインの文字列(サブドメインから独自ドメインを除外した部分)のみを集計したところ、サブドメインを使っていないものが半数以上であることがわかりました。しかしながらサブドメインを使っていたものでは、【図 7】のように、ブランド名をサブドメインにするだけでなく、ブランドの正規ドメインをサブドメインとして利用するものが多く確認できます。正規ドメインから数文字を変更したようなものもあります。

順位 ▲	サブドメイン文字列	シェア	順位 ▲	サブドメイン文字列	シェア
1	サブドメイン無し	53.29%	11	rakuten	0.31%
2	mail	1.26%	12	www2.cr.mufg.jp	0.29%
3	amazon	0.69%	13	smbc-card	0.28%
4	amazon.co.jp	0.54%	14	aimozon.co.jp	0.27%
5	ebay	0.48%	15	docomo.ne	0.26%
6	smbc-card.com	0.46%	16	raikuten.co.jp	0.23%
7	lloydsbank	0.42%	17	smbc	0.20%
8	hsbc	0.36%	18	rakuton.co.jp	0.19%
9	amazon-check-co.jp	0.35%	19	arnozom.co.ip	0.19%
10	rakuten.co.jp	0.33%	20	jp-amazon	0.19%

【図 7】2021 年上半期 フィッシングサイトサブドメイン文字列トップ 20

※1 フィッシング対策協議会の報告によると、2019 年 12 月のフィッシングサイト URL 件数は 2178 件でしたが、コロナ禍の 2020 年 3 月には 4136 件となりました。以降、フィッシングサイト URL 件数は毎月 4000 件～6000 件を推移しつつ、2021 年 8 月には 9024 件となっています。

<https://www.antiphishing.jp/report/monthly/202108.html>

※2 IANA はドメイン名、IP アドレス及び AS 番号、各プロトコルで使われるプロトコル名及び番号といったインターネット資源を管理していた組織。インターネット基盤資源を世界規模で管理・調整するために設立された非営利公益法人 ICANN に引き継がれ、現在、IANA は ICANN における機能の名称として使われています。

<https://www.iana.org/domains/root/db>

## ▶デジタルアーツの i-FILTER はフィッシングサイトの URL をブロック

デジタルアーツでは日々様々な情報をもとにデータの収集を行っています。「i-FILTER」Ver.10 では、フィッシングサイトの URL はフィルターデータベースへと迅速に配信され、[フィッシング詐欺]や[違法ソフト・反社会行為]カテゴリにてブロック可能です。また、ダイナミック DNS での悪性利用状況を鑑み、カテゴリテンプレートの基本設定では「ダイナミック DNS」カテゴリを「ブロック」としています。フィルターデータベースに反映されていない URL についても「ホワイト運用」を行うことで、デジタルアーツが安全を確認した URL にのみアクセスを許可し未知のフィッシングサイトや悪性 URL をブロックすることができます。さらに「**クレデンシャルプロテクション**」機能では、正規のサイトと判別が困難な改ざんサイトに設置されたフィッシングサイトであっても、ユーザーが ID・パスワードを送信しようとした際にこれをブロックすることが可能です。

### ■セキュリティ対策の新定番「ホワイト運用」

「i-FILTER」クレデンシャルプロテクション [https://www.daj.jp/bs/ifilter/#if\\_02\\_f02](https://www.daj.jp/bs/ifilter/#if_02_f02)

## ▶2021 年上半期フィッシングサイト ドメイン集計のレポートはこちら

以下、弊社コーポレートサイト上にて公開しております。

### ■セキュリティレポート「2021 年上半期フィッシングサイト ドメイン集計」

[https://www.daj.jp/security\\_reports/210922\\_1/](https://www.daj.jp/security_reports/210922_1/)

### ■プレスリリース「コロナ便乗詐欺やフィッシング詐欺が横行」

<https://www.daj.jp/webtopics/16/>

## デジタルアーツ株式会社 概要

Web、メール、ファイルなどのセキュリティソフトウェアの提供を核に事業展開する情報セキュリティメーカーです。

1995 年の創業以来、「より便利な、より快適な、より安全なインターネットライフに貢献していく」を企業理念とし、有害情報の閲覧を制限する Web フィルタリングソフトを開発、以来企業・公共・家庭向けに情報セキュリティ製品を提供しております。

東京都千代田区大手町 1-5-1 大手町ファーストスクエア ウエストタワー14F ▶URL: <https://www.daj.jp/>

<本リリースに関するお問い合わせ>

デジタルアーツ株式会社 広報担当 山田 TEL : 090-1555-7254 / E-mail : [press@daj.co.jp](mailto:press@daj.co.jp)

※新型コロナウイルス感染症拡大に伴う在宅勤務実施中のため、お電話でのお問い合わせは上記とさせていただきます

- ※ デジタルアーツ、DIGITAL ARTS、i-FILTER、info board、Active Rating System、D-SPA、NET FILTER、SP-Cache、White Web、ZBRAIN、クレデンシャルプロテクション、ホワイト運用、m-FILTER、m-FILTER MailFilter、m-FILTER Archive、m-FILTER Anti-Spam、m-FILTER File Scan、Mail Detox、m-FILTER EdgeMTA、EdgeMTA、FinalCode、i-フィルター、DigitalArts@Cloud、Desk@Cloud、Desk、D アラートおよび D コンテンツその他の弊社・弊社製品関連の各種名称・ロゴ・アイコン・デザイン等はデジタルアーツ株式会社の登録商標または商標です。
- ※ その他、上に記載された会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。